

素材研究  
(海外)

# ベルンカステル・クース(ドイツ)



木組みの家々が連なる小路は中世の昔に戻ったかのようなです ©ドイツ観光局



丘の上から見下ろしたベルンカステル・クースの眺望



なだらかな丘陵の上にはランツフト城の姿も見えます



## モーゼル河畔の「かわいい絶景」 中世の木組みの家々が続くワインの名産地

市庁舎と木組みの家々が囲むマルクト広場は瀟洒な雰囲気も醸し出しています



河畔に広がるブドウ畑の丘陵はモーゼル地方の典型的な光景です ©ドイツ観光局



世界遺産の町・トリアーはベルンカステル・クースから車で約30分

ドイツでクヴェトリンブルクとともに「ヨーロッパの美しい村30選」に名前を連ねるベルンカステル・クース。モーゼル川の蛇行が生み出す美しい景観のもとで、ドイツのロマンを象徴するように木組みの家並みが続く旧市街は、魅力溢れる「かわいい絶景」です。

### モーゼル河畔に漂うドイツのロマン

ドイツを代表するアイコンの一つであるライン川は多くの詩歌でその美しさを讃えられ、日本のみならず世界中でその名を知られています。最大の支流であるモーゼル川は、ライン川に辿り着くまでに大きく蛇行を繰り返して、ワインの生産地でもあるモーゼル川の流域に見事な景観を生み出してきました。

ベルンカステル・クースはモーゼル川中流に位置し、ドイツ屈指のワイン名産地として知られています。市庁舎と中世の美しい木組み建物が噴水を囲むマルクト広場は、ドイツの小さな町や村で見られる典型的な光景です。曲がりくねった小路の両側に400〜500年前に建てられた木組みの家並みが続く旧市街はドイツのロマンそのものでもあり、ドイツ観光局も「かわいい絶景」としてその魅力をアピールしています。

右岸に位置するベルンカステルと左岸のクースが大橋でつながり、一つのコミュニティ

を形成するベルンカステル・クース。ベルンカステル側の丘の上には、選帝侯トリアー大司教の夏の離宮だったランツフト城があり、モーゼル川と旧市街、ブドウ畑を一望できる絶好の展望台となっています。

### サステーナブル・ツーリズムへの理解も

左岸のクースにはモダンなモーゼルワイン博物館やヴィノテーク(ワイン蔵)となっている聖ニコラウス治療院があり、ヴィノテークではモーゼル地方の150種類にも及ぶワインの試飲も可能。徒歩観光後には、モーゼルワインを楽しむこともできます。

ベルンカステル・クースからは、上流にある世界遺産の古都トリアーを訪ねたり、下流のエリアを観光しながら、モーゼル川とライン川が合流するコブレンツに出て、ライン川の旅を続けることもできます。

ドイツ観光局の西山晃日本支局長は「ベルンカステル・クースを囲むように蛇行したモーゼル河畔の丘陵に広がる景観が自然に形成されたものではなく、ローマ時代から続く人間の営みが生み出した『里山の風景』であることも知っていたきたい」と指摘。今年が国連世界観光機関(UNWTO)の「持続可能な国際観光年」であることも踏まえ、「そのゴールドパートナーとなっている観光の国『ドイツ』で、サステーナブル・ツーリズムに連なる様々な取り組みが続けられてきていることも、ツアーを通じて理解していただければ」と語っています。